

道産子ライフ低炭素化促進活動 ～エネルギーをしっかりと選ぶ、大事に使う、 これからもずっと～

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

報告シンポジウム参加者 **115人**

市民風車見学対応 **519人**

今年度計画の達成度 **95%**

目標達成度 **92%**



シリーズ2℃未満の道ファイナルの様子

課 題

北海道民の日常生活に起因する温室効果ガスが他地域と比べて多く、排出抑制を進めていく必要があるが、各主体の普及啓発は、相乗効果を出すまでには至っていない。

目 標

北海道において、道民自身が日常生活に起因する温室効果ガスの排出抑制に取り組む。そのために各主体が連携し、多様なアプローチによる普及啓発を推進していく。

活動内容と成果

●省エネルギー行動研究・普及活動北海道交流集会を1回開催、4自治体7人、2中間支援組織2人を含む28人の参加があった ●市民のエネルギーリテラシー醸成のための学習会や、脱炭素社会に向けた世界の動向に関する学習会を合計6回開催、501人の参加があった ●再生可能エネルギーへの理解・関心を深めることを目的に、市民風車の見学会を10回実施し、519人の参加があった。 ●低炭素ライフ普及を目的としたイベント開催・出展では、491人の参加があった ●低炭素社会に向けた実践意欲は平均75%であった



市民風車見学会の様子



省エネルギー行動研究北海道交流集会の様子

全助成期間の活動を振り返って

本事業を通して、当初予定していた以外にも連携する団体が増え、以前からの連携団体とも、より緊密な関係を築くことができた。助成期間の3年間を通して実施してきた「シリーズ2℃未満の道」は16回になり、低炭素社会から脱炭素社会へと向かう道筋を、さまざまなアプローチから示すことができ、自治体をはじめ普及啓発を推進する各主体からも高い評価を得、当法人への認識・期待がこれまで以上に大きくなったと感じている。

| 活動地域 | 北海道

〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西2丁目

JRタワーオフィスプラザさっぽろ20階

電話：011-280-1870

E-mail：office@h-greenfund.jp

http://www.h-greenfund.jp/



今後の
展望

「持続可能で豊かな低炭素ライフスタイルが定着するとともに、民生部門のCO₂排出量の削減」は当法人のミッションでもあるので、本事業で得られた成果や団体・機関との結びつきをいかし、活動を継続していく予定である。また、スタッフの増員がなかったため、活動を通じた人材育成を通じて、より大きな成果に結びつけるよう取り組んでいく計画としている。